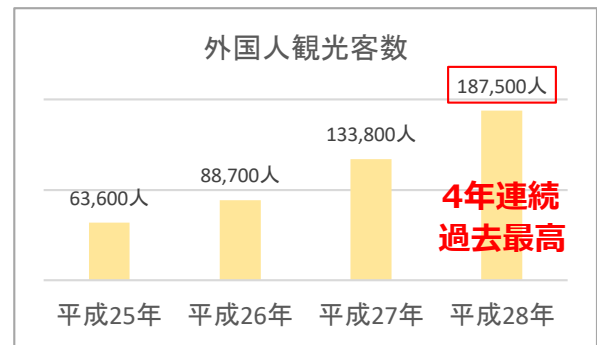
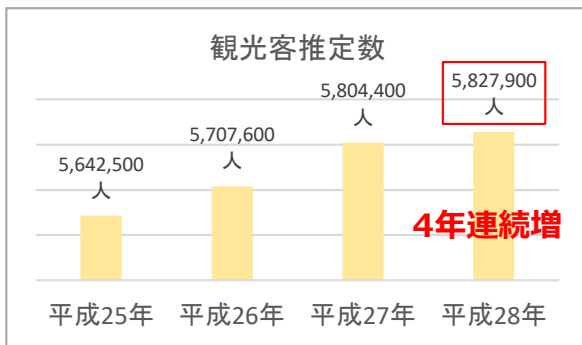


4. 産業・雇用 で幸せ実感

幸約 13 瀬戸内・松山構想や新ゴールデンルートとの連携を強化し、中四国を周遊する観光ルートを定着させます。スポーツや文化・文学との連動により更なる誘客に取り組みます。

主な取組実績

- ・国が認定した7つの広域観光周遊ルートのうち2つで、松山が広域拠点地区に位置付け
 - せとうち・海の道（瀬戸内ブランド推進連合、瀬戸内観光ルート誘客促進協議会）
 - スピリチュアルな島～四国遍路～（四国ツーリズム創造機構）
- ・観光客推定数は4年連続増加で、582万7,900人（H28）
- ・外国人観光客は4年連続で過去最高を更新し、18万7,500人（H28）
- ・JRグループ全6社による国内最大の送客キャンペーン「四国DC（デスティネーション・キャンペーン）」開催
- ・他都市、大学、企業との連携による誘客促進（東京理科大学、新宿区、熊本市、横須賀市、斑鳩町、株式会社ぐるなび、資生堂など）



▲ 新宿区との連携



▲ 東京理科大学との連携



▲ 株式会社ぐるなびとの連携

幸約 14 積極的な修学旅行の誘致を行います。「おもてなし日本一のまち」へ向けた取り組みを強化し、地域の活性化とリピーターの確保に努めます。

主な取組実績

- ・平成17年度には0校だった修学旅行誘致件数が平成28年度には64校、約1万人にまで増、経済効果は約1億6,700万円
- ・AKBメンバー3名が松山おもてなし大使に就任
- ・産官学連携による観光客歓迎ムードを醸成
- ・えひめ国体・えひめ大会で、官民一体となって松山らしい「おもてなし」を実施



▲ 修学旅行生を「瀬戸内・松山観光アンバサダー」に任命

幸 約 15 中小企業が元気になるよう、創業支援や販路拡大など様々な中小企業支援プログラムを実行します。各産業における担い手の育成や企業誘致による雇用の拡大、高齢者や女性の雇用対策に取り組みます。

主な取組実績

- ・松山市中小企業振興条例に基づき、「**松山市中小企業振興計画**」を策定
- ・産官学金で構成する「中小企業振興円卓会議」からの意見を施策に反映
- ・「まつやま経営交流プラザ」（銀天街ゲット内）を「**未・来（みらくる）Jobまつやま**」にリニューアル、機能を拡充し、創業・経営・就労支援などをワンストップで実施
- ・**創業者支援を充実**（融資制度の拡充や利子補給制度の創設など）
- ・松山圏域3市3町で連携し、「松山圏域中小企業販路開拓市」を開催
- ・商店街活性化アドバイザーの派遣や**事業継承の支援を新たに実施**
- ・就農希望者や新規就農者への支援により、3年間で79人が新規就農
- ・2期目就任以降、**20企業の立地と約330億円の設備投資を実現、1,100人超の雇用を創出**
- ・「いきいき仕事センター」での相談支援など、高齢者の活躍を支援
- ・セミナーや交流会の開催のほか児童館での出張個別相談など、女性の再就職を支援
- ・「**働き方改革支援プロジェクト**」を展開（サイボウズ株式会社と「働き方改革先進都市まつやまの実現に向けた連携協定」を締結、まつやま働き方改革推進会議設立）



▲ 中小企業販路開拓市



▲ 株式会社デジタルハーツの事業拠点開設に係る立地協定締結

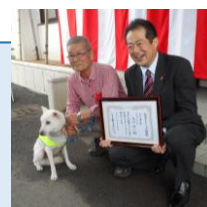


▲ 高齢者就労総合相談窓口「いきいき仕事センター」

幸 約 16 愛情込めて育てた農産物を守るために有害鳥獣対策を強化します。農林水産物ブランド品目の拡大とトップセールスによる販路開拓、アボカドやライムの産地化を目指します。

主な取組実績

- ・**有害鳥獣対策を強化**（狩猟免許取得経費の支援や捕獲奨励金の交付、電気柵などの購入費支援、モンキードッグの導入、感知センサー付き箱わな設置など）
- ・愛媛大学と連携し有害鳥獣の生息状況や行動範囲の調査を実施、地域ぐるみの対策を推進
- ・**新たな農林水産物ブランドに「松山ひじき」「グニユーカリ」を認定（現在10品目）**
- ・柑橘以外の品目（松山一寸そらまめ、松山長なす、松山ひじき）のトップセールスを新たに実施
- ・ブランド製品の新規取扱店舗数は、4年間で約250店舗 増
- ・アボカドとライムの栽培を推進、認知度向上・販路拡大に向け、「第1回 日本アボカドサミット」を開催



▲ モンキードッグ



▲ 松山産アボカド



▲ 東京・大田市場での紅まどんなのトップセールス



▲ 松山ひじき



▲ グニユーカリ